

偽物的かつ一方的授業再構築の粉砕！

偽物的「学科切りくり」案の粉砕！

全学再主権回復宣言！

古田体制打倒！

至ての学友諸君！我々は去年の六月以来10ヶ月にわたる日大斗争を战争的に断固として展開して来ました。そして我々は「学民主義化」、「古田体制打倒」という2大スローガンの中に単に日大斗争を偽物的な物取り斗争としてとらえるのではなくして、現在の政治状況というものを革命的に歪曲することなく、正しくとらえていかなければならないであろうし、とりわけ日大斗争と全国学生斗争の両端として位置づけられる日大斗争はその内容性から権力側においてほゞ完全に自らのコゴとして政府アルファベットにおいては初音を折れこめているのである。———その様な現在の日大斗争の政治情勢というものの中に我々は、この時点において日大斗争のおかたいては平等というものを正しくとらえ、日大斗争を全国学生斗争の一環として、その中に日大斗争を教育=学生斗争としてとらえ、古田体制によって我々に対しての悪びをおかして現存の隷属として存在していたところの産学共同路線粉砕！としてその基本問題として現在の大学における政府アルファベットによる大学の直接支配貫徹の基に———大学の近代化=合理化というものとおしての大学の革命主義的断滅！という基本問題の中に日大斗争を再度とらえていかなければならないと考えます！

それと同時に、現在の敗退高潮というものを直視し、それを我々にとて有利な方向性に導く為にも我々は再度活動者を強固に組織化し、今日までの継続上の欠点を総括し再度中心主義的な学生再組織化を計らなければならぬと考えます！

そして、大衆に対して日大斗争の理奥というものを正しく教え、その為には我々は何をなすべきであるのかということをも正確に問題意識しなければならぬと考えます！

※ 日大斗争勝利に対しての前進的行動見込め！

① 一方的学科切りくり案の粉砕 → 学科廃止

ハレンキにも学校当局は、今まであらゆる我々に対しての政治力を我々の力と正統的な大衆の力とによるものとして、その根本的な問題とまで我々とうまく偽物的に承た！にもかかわらず3・13石つ=学科連合を学生と使かた無気やる28における至学集会開催などの相手を我々に加えて来た。しかし、それ以上の相手を我々は強固に固執と偽りの感情性において、教授会の偽善性をバツロしつつ、勝利して来ました。しかし、教授会の理事会追放決定は予想以上に強く、それ故に理事会のうち出た方針という物を強固に推進しようとして来ているのです。———その為には学生大衆の意旨の反映等とはどうも叶いません。———その中に被弾のうち出す最後の手段として、学科内切りくり案というものを示さなければならぬ。すでにFi-Fiにおいてはすでに解決と少数の権威政治による承認され、又J.D.A.Cでは学生委員会の先導的に斗争的になつてその野望を粉砕されています。———しかし、この日大斗争においては、現在までまだ行なわれていませんが、いよいよ近日中に行なわれるであろうし、———その様な非常事態をシロカイトに行くには、我々のいちいちに固執して、その案を固執と粉砕して行なわれなければならないと考えます！

② 再バリケード構築による我々のヘゲモニー回復 → 古田体制打倒案

現在、「学科切りくり」案の粉砕というものは我々の戦列を分断しようとして来たことにはせが？———それは皮肉が皮肉の如き如きと我々の校舎を襲撃して我々に押し付けてくわえて来ということに不慮をおかすはならない。———そして、それによって我々の斗争を圧殺しようとは初めです。しかし、日大斗争において、最も重要なものは我々のヘゲモニーの下で正統的に勝利しなげはならないのです。その為にも、支配者による革命的に(⇒被弾の秩序体制)＝旧古田体制のJ.S.M.I.支配したところの組織的校舎を我々の実力によって再度我々の秩序体制を貫徹しなげなければならないと考えます！———しかし、このこととして我々の斗争勝利はありえない、又再度我々の実力による校舎を襲撃し、再度バリケード構築を貫徹しなければならぬと考えます！———これが、これこそが古田体制打倒の革命的な断滅となるのだということまで我々の学友諸君は強く確信していただきたいと考えます！

日本大学全学共闘会
獣医自治体準備委員会